

2024年3月千葉公園「自然観察会のお知らせ」

日時：2024年3月9日（土）10時00分～12時00分（120分）

会場：千葉公園 〒260-0045 千葉市中央区弁天 3-1

集合：蓮華亭テラス：10:00 受付：9:45

内容：植物・昆虫・野鳥の観察会

①センペルセコイア（すぎ科）

千葉公園の背の高い針葉樹はヒマラヤスギとセンペルセコイア！

②マンサク（まんさく科）

春一番に「先ず作く」でまんさく。黄色い短冊型の花びらは魅力的です ①

③ナノハナ（あぶらな科）

早春の代表的な花といえば「ナノハナ」。あぶらな科の特徴は？ ②

④アセビ（つつじ科）

アセビはアシビ（馬酔木）ともいい、ツツジの仲間です

⑤ノボロギク（きく科）

ロゼット植物の仲間は大地に葉を広げながら徐々に茎を伸ばしていきます

⑥ハンノキ（かばのき科）

フクロウトイレのそばで葉を落とした枝から実と茶色の尾状の穂が垂れています。

持ち物：自然観察ができる服装と靴・タオル・飲み物・おやつ・図鑑（植物・昆虫・野鳥など）

防寒具・ルーペ・双眼鏡・敷物・帽子・雨具・筆記具・虫眼鏡・採集袋など

お話し：亀井 尊（日本自然保護協会・自然観察指導員）

安全対策：1. ゆっくり千葉公園内を歩いて自然に親しみます。

2. 寒暖差の対策と水分補給、そしてマスク着用

3. 植物採集、昆虫採集はできません。

4. 植物のトゲや毒をもつ昆虫には注意しましょう。

時間配分

10:00～10:10 蓮華亭にて挨拶・資料配布・今月の自然解説 【カワヅザクラの花】

10:15～11:45 綿打池を時計回りで移動し展望台、市民プール近くまで行きます。

①3月に咲く花の観察 ②ロゼット植物の生長

③昆虫の動き（5日啓蟄） ④北へ帰る冬鳥の観察

11:50～12:00 今日の観察会を振り返って。 *千葉公園自然観察会は2024年度お休み

《観察のポイント》

1. 昨年、公園内の巨木調査をしたところ、胸高直径を測るとクスノキの大木が多く、高さではヒマラヤスギでした。センペルセコイアは世界1位の高さを誇る樹木です。高さの測り方は？
2. 2月の下旬から短冊形した黄色の花がフクロウトイレから荒木山へ上っていく右斜面に見られます。青空を背にすると黄色が浮き立つように見えます。花の構造を観察してみましょう。
3. ナノハナの季節になると菜花の料理に挑戦し、菜花のマヨネーズ和え、天ぷらなどで春を先取りします。そして花を愛で、春の香りを楽しみます。あぶらな科の構造を観察しましょう。
4. アセビは千葉公園の大木に覆われた日陰の道沿いに植栽されています。この時期は白いつぼ状の花をつけています。お花見広場ではピンク色の花が暖かく迎えてくれることでしょう。
5. 「ノボロギク」とは何とも可哀想な名前ですね。野に生えるボロをまとった菊という意味なのでしょう。でも岩のすき間から出ている姿に強い生命力を感じます。黄色い花も魅力的ですよ。
6. 早春にいち早く花を開いています。その花はハンノキの雄花で、葉のない枝から10cm程度の穂をたくさん垂らしています。枝には黒く染まった1cm程度の果実が残っています。

主催：NPO 法人 ちばサイエンスの会 連絡先 080(3503)6059（亀井）

千葉公園の自然（花・草・鳥・昆虫など）に親しむ

子どもの頃から千葉公園の自然に親しんできた私です。以前はここには二ホンサルやクジャクなど鳥のミニ動物園があり、市営プールで遊んだ後にアイスキャンディーをしゃぶりながらサル山のサルに木の実を拾ってきて手渡したり、クジャクのきれいな羽根を拾ったりしたものでした。

千葉公園の自然は多種多様な木々に覆われ、この隣にある競輪場で競技が開催されると多くの人たちが公園内を横切って競技場と千葉駅を往復していました。道の脇にはおでんや酒が飲める露店が並び、たばこの煙と一緒に異様な匂いがしていたという印象でした。実際にサル山で火のついたタバコをサルに投げつけたりする酔った人や大声を出して喧嘩を売るような人もいたのも事実です。私の住む椿森の町はゴミが散乱して、治安のよいとは決して言えない競輪期間中でした。

それでも千葉公園の自然は木々で覆われていて、花や昆虫、野鳥を観察するのにとても魅力的な公園でした。観察するというよりも探検するといった方が適切だったと思うのは忠霊塔の立つ周辺では怪しい人が出入りしていて、度胸試しに塔の後ろ側から上って勇気を試したこともありました。また、塔のある場所は急な斜面にあるので、仲間と段ボール遊びもしました。

当時の綿打池周辺はポプラの大木が天に向かって大きく伸びて夕暮れ時は牧歌的な雰囲気を醸し出していました。高校の教員として新年度のクラス開きには千葉公園で LHR を実施し、ソフトボールや自然観察会、ボート遊びなどをしたものでした。そして私の知る限りでもチャンチン、ポプラ、シンジュなどの珍しい樹木が植栽されていましたが、今はツガ、センペルセコイア、カツラ、コウヨウザン、ムクロジ、モミ、フウ、ハクウンボクなどが残っています。荒木山のアカマツ林は市内でも貴重な存在なのです。今後千葉公園の自然はどのように変化していくのでしょうか。



【ヒイラギの葉回し】 【牛乳パックで描いた絵が一瞬に変わる不思議】 【観察会の参加者】

1. センペルセコイア（すぎ科） セコイアメスギともいいます

北アメリカ太の湿った山地に自生するすぎ科の常緑樹で、世界で最も大きくなる樹種の一つで、2006年時点ではカリフォルニア州レッドウッド国立公園にあるセンペルセコイアが樹高 115m で世界一高い木とされました。日本には明治時代に渡来し、公園、寺院、植物園などに植栽。

セコイアとはアメリカ先住民のチェロキー族の酋長「セコヤー」に由来。樹皮が赤褐色で内部も赤みを帯びるので「レッドウッド」という別名もあり、トーテムボールの材に利用されました。

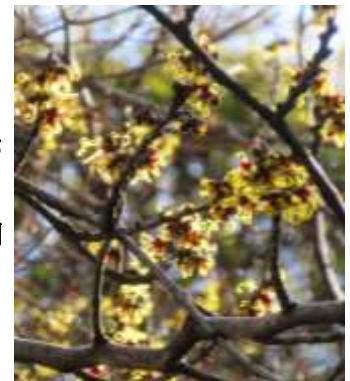


【センペルセコイアの赤い幹と葉と実の観察】

2. マンサク（まんさく科） 3月21日の誕生花です

マンサクの木は2本あります。一つは荒木山頂に植栽された若い木とフクロウトイレから荒木山へ坂を上っていく右斜面にたくさんの花をつけた老木が見られます。毎年、2月の下旬ごろから咲き始め、気づく人は坂道を歩きながら裸木から黄色い短冊の形をした花を眺めることとなります。斜面に上がって、枝を手元にもってきて花の構造を調べてみましょう。本当に不思議で魅力的な花です。

マンサクはおめでたい花で、春の到来を知らせる、「先ず咲く」から命名されたようです。また、「豊年満作」から、米の生育が今年も良く、収穫につながるという意味もあるようです。



【黄色に輝くマンサク】

3. ナノハナ（あぶらな科） 唱歌「朧月夜」菜の花畠に 入日薄れ 見渡す山の端 霞ふかし
 菜の花は千葉県の花ですね。房総半島のフラワーラインや小湊線やいすみ鉄道沿線にはナノハナが咲き乱れ、春を待つ多くの観光客でにぎわいを見せる風景を思い起こさせます。何のために菜の花が植えられたかという、この実を絞って「菜種油」を作るためでした。長野県飯山市を流れる千曲川流域にある菜の花畑が唱歌「朧月夜」の地であることを知る人は少ないようです。



【ナノハナの蕾が膨らみ始め、4枚の黄色い花びらが開花すると春の到来を告げます】

4. アセビ（つつじ科） *牛や馬が食べると酔っぱらうので「馬酔木」と言います。

この時期にスズランによく似た小さな花を枝いっぱいにつける常緑の低木が千葉公園内の巨木に覆われた道で見られます。奈良県や京都府では、公園や神社に特別に植えられています。その理由は、シカが公園の草や木の葉を食べ尽くしてしまうからです。この木の枝葉には有害成分が含まれます。葉を噛んでみると少ししびれることから、別名「馬酔木（アシビ）」と呼ぶのは足しびれの略だとも言われています。



【白色のつぼ状の花】

5. ノボロギク（きく科）

ロゼット植物の中でもノボロギクは生命力が強いことを感じます。それはアスファルトのすき間に生える黄色い頭花を見る機会があちらこちらで見られ、暖かさに伴って徐々に茎を伸ばしてきました。葉はやや肉厚で不規則な切れ込みがあり、頭花は普通、筒状花のみで総苞の上にてた2～3mmの部分が黄色く見えます。面白いのは総苞や小苞の先が黒く見えるのが特徴です。

<筒状花と舌状花>

筒状花（とうじょうか）：合弁花の一つで花びらが筒状の花

舌状花（ぜつじょうか）：合弁花の一つで、花の上部の一部が舌のように伸びている花



【コンクリートで覆われた小さなすき間にノボロギクの葉がロゼット状に出て命を繋ぎます】

6. ハンノキ（カバノキ科） 髄はどんな形をしているかな？（●・▲・■・★・♥）

フクロウトイレ近くにハンノキが1本植栽されています。落葉広葉樹で、根は放線菌と共生し崩壊地など荒地でよく育つとされます。そして樹皮や実は褐色の染料に利用されます。また、水辺でも見られ、ハンノキの葉を食草にしているミドリシジミチョウが初夏に飛んでいる姿を見ることができます。千葉市若葉区にある「大草谷津田いきもの里」では、谷津田遊水地から流れ込むハンノ林ではミドリシジミを観察することができます。風にそよぐ雄花を観察してみましょう。



【ハンノキの実と雄花が揺れる】

《3月》 千葉公園の自然風景（花・草・鳥・昆虫など）

【①】 センペルセコイア



①綿打池の傍に立つセンペルセコイアの大木。
幹の周りに小さな実と葉が落ちています。

【②】 マンサク



②マンサクの花は何とも不思議な短冊型の黄色花が4枚、萼片4、オシベ4、メシベ1

【③】 コブシの花



③春はナノハナがよく似合います。色と言い、
香りと言い、早春の暖かさが伝わって来ます。

【④】 アセビ



④アセビの花は白や薄ピンクのつぼ型の花が
まとまって咲きます。花の香りを楽しもう。

【⑤】 ノボロギク



⑤ノボロギクの総苞片には三角形の黒い目印が
見られ、瞬際で咲く花に生命力を感じます。

【⑥】 ハンノキ



⑥ハンノキの枯れ枝から尾状に垂れるオシベ
が花粉を飛ばしはじめました。春です！